

なりきた



PTA広報誌第80号

発行・編集

千葉県立成田北高等学校

PTA広報委員会

〒286-0011

成田市玉造5丁目1番

TEL 0476 (27) 3411



なりきた 散歩道

「ウミハ」か「ヤマハ」か、夏になると人間は二通りのタイプに分かれる。つまり、海に行きたいか、山に行きたいか、

である。「ウミハ」は開放的な雰囲気の中で冒険するタイプ。「ヤマハ」は厳しい自然条件の中で自分を鍛えようとするタイプ。▲将来について悩み、高原の湖畔で一人キャンプをした高校生時代の思い出がある。八ヶ岳山麓にテントを張る。簡単な夕食を済ませると早々にスリーピングバッグに潜り込む。いろいろなことが頭を過る。自分は何でこんなところにいるのだろう。惰性的な日常生活から脱却するためか。友達はみんな今頃受験勉強をしているのだろうか。テントの中で一人、人生について、将来のことについてあれこれ考えている。そんなことを考えているうちに、いつしか犬のように眠り込んでしまった。一九六八年七月二十六日のことだ。▲誘惑いっぱい華やかな海は人生を考えるには少し不向き。やはり山がいい。どちらにしても、非日常的生活の中から日常に繋がる普遍性を発見することもできるのではないか。危険がいっぱいの夏休み、気をつけて。

(副会長 瀧寄 博)

成田北高等学校の 新たな黎明の 時を迎えて

PTA会長 石橋久和



本年度PTA会長を務めさせていただきます。石橋と申します。

皆様には、日頃より多大なる御理解御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。さる五月三十日のPTA総会において、新しい役員、そして事業計画が承認され、新しい一年がスタート致しました。

身の引き締まる思いと共に、一年間皆様とPTA活動に邁進したい所存であります。

さて本校は昭和五十五年に開校し、今年でちょうど創立三十年を迎える事となります。この大きな節目である三十周年を記念し、本年十一月二十日に記念式典を行う事が決定致しました。もつか実行委員会の中で、式典の内容、記念事業などを計画しております。来たる十一月二十日には、在校生はもちろん、本校に縁のある皆様と三十年の歴史を顧みながら、お祝いをしていただく思っております。

そしてこの本校創立三十周年に合わせていただいたかのように、本校より徒歩数分の場所に、成田新高速鉄道の新駅、成田湯川駅が来年春にオープンする予定です。

この新駅のオープンと同時に成田空港と都心が成田新高速鉄道で結ばれ、京成スカイライナーの新型車両により、日暮里―空港間が最短三十六分で運転される事になっていきます。この新駅の建設、オープンに伴い、駅周辺の開発も進み、本校に対する注目度は一段とアップし、近隣の中学生の入学に対する関心も高まる事でしょう。

又、来年は、九月から十月にかけて千葉県において、第六十五回国民体育大会、第十回全国障害者スポーツ大会が行われる事が決定されております。その障害者スポーツ大会のグラウンドソフトボール競技の会場として、本校は指定されております。既に大会事務局が中心になり、準備としてPR活動を行っています。競技会場として本校も色々な形で、協力・お手伝いを行う事となるでしょう。

このように、今年から来年に渡り、創立三十周年、成田湯川駅のオープン、そして全国障害者スポーツ大会と大きな行事、出来事が続きますが、これも成田北高等学校の新たな黎明の時と捉え、本校三十年の歴史を踏まえつつ、大きく未来に向けて飛躍する機会になる事を強く望んでいます。

成田北高校へ着任して

校長 鈴木政男



学校のグラウンドや庭園もこの原稿が印刷されるころには、強い日差しと深い緑の中、夏の盛りとなっていることと思います。

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動に対しご理解、ご協力を賜り、併せて、物心両面からご支援をいただいておりますこと心より御礼申し上げます。PTA広報誌「なりきた」第八十号の発行にあたり、着任のご挨拶を申し上げます。

県立千葉東高校にご栄転の玉造功前校長の後、四月に校長として着任いたしました。ペテランの先生の後の新米校長であり、一層の重責をひしひしと感じています。

これまで成田という街にはあまり縁がなく、成田市内にも周辺にも勤務したことがありません。個人的にも、空港や成田山へ訪れたことはあっても、それ以外では全く足を踏み入れたことのない街でした。着任するにあたって、どういふ校風なのか、生徒の気質は、土地柄は、と不安ながらも、期待で気持ちが高揚しておりました。迎えた始業式・入学式では、近年になく遅咲きとなった桜が満開となり、校庭だけでなく、市内のいたるところ、薄紅色の花であふれ

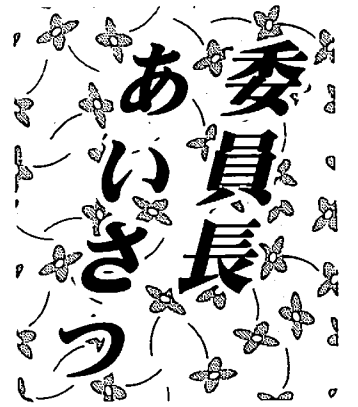
感動的な美しさでした。式のなかでは、「念願は人格を決定す。継続は力なり。」というお話をいたしました。強い思い・信念を持って、一日一日を生活することの大切さを訴えました。

そして、一週間ほどのうちに気がついて、何よりもうれしいと思つたことは、成田北高の生徒達が純朴で素直な子ども達だということです。あらためて、お預かりしたお子様の育成に携わる責任を実感するとともに、全力を尽くそうと決意いたしました。

さて、ニュータウンの造成地に開校した本校は、今年、三十年目を迎え、過日のPTA総会でも了承いただいたように、十一月二十日の創立三十周年記念式典等を計画しております。これを機会に、三十年という伝統ある成田北高の生徒として、一層の誇りを持ってもらいたいと思っております。

また、本校の周年行事に合わせるかのように、印旛日本医大駅から成田空港まで延伸される成田新高速鉄道が開業予定であり、着々と工事が進められています。そして、二十二年の春には、本校から徒歩五分の成田湯川駅が利用可能となります。印西地区がぐっと身近な通学圏となります。成田北高にとって、大きな節目の年です。

学校では、職員一同、学習指導と生活指導、そして部活動等に力を注ぎ、最終的にお子様の希望の進路が達成できるよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



校外指導委員長

大柳 瑞子



昨年引き続き校外指導委員長を務めさせていただくことになり

ました大柳と申します。一年間、校外指導委員の方、先生方と共に年二回の成田駅での街頭指導、又、年九回の自転車登校指導を行いたいと思

います。昨年より校外指導委員となり活動する中、気になる事は、信号無視が多い事や細い路地から飛び出しなどです。

一人一人の自覚が大切だと思います。ちよつとした注意のなさが大きな事故になる事があります。

生徒の皆さん、交通ルールをしっかり守って下さい。

広報委員長

蓑田 美紀



昨年度引き続き、今年度も広報委員長の役割をお受けしました

蓑田です。

昨年同様、広報誌「なりきた」は、年二回(七月・三月)の発行です。発行については変わりませんが、一回の発行につき広報委員会の集まりが、二回から三回と回数が増え、役員の方々には少し負担がかかるかと思いますが、限られた時間の中で協力し合いながら、より良い広報誌をめざし努力していこうと思

っています。又、原稿をお願いし、快く引き受けて下さる先生方をはじめ、子供達の力により「なりきた」は支えられていることを実感しています。

今年も学校でのさまざまな行事や情報、部活で活躍する子供達、そして、十一月に行われる三十周年記念事業についてもお知らせしていきたいと思

っています。広報誌「なりきた」を通し、保護者の方にも、色々な様子を伝えられたらと、役員一同頑張っていきたいと思

国際交流委員長

佐久間 幸恵



本年度も国際交流委員長を務めさせて頂く事になりました佐久間と申します。

今年も予定しておりました姉妹校であるオーストラリアのワガワガ高校への短期派遣プログラムの活動計画についてですが、五月中旬に問題となった新型インフルエンザ流行の影響によりやむを得ず中止を決定いたしました。今回、一年生六名、二年生二名の応募があり、引率の先生も決定して事前研修も始まった矢先だった為、残念に思います。ワガワガ高校からの例年の訪問が十一月の為、本校で今年行われる創立三十周年記念式典と重なれば、姉妹校としての更なる飛躍を願ひ、記念植樹をとも

考えていたのですが、世界経済悪化でオーストラリアアドル安にもつながったこともあり、とても日本への訪問計画を立てる状況ではないとの連絡が入りました。

国際交流委員会としての大きな活動は中止となってしまいました。が、他の学校行事には参加をさせていただきます。思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

千葉県高等学校 PTA連合会 定期総会

平成二十一年六月十日(水)、県高P連定期総会が千葉県教育会館大ホールにて開催されました。平成二十一年度会長青野稯氏、平成二十一年度会長石橋久和氏、本校職員(学校理事)の三名で参加しました。

連合会会長の挨拶に続き、表彰状・感謝状の贈呈並びに受賞者の代表による挨拶がありました。平成二十一年度PTA会長の青野稯氏に感謝状が贈られました。

続いて平成二十一年度事業報告、決算報告並びに監査報告、平成二十一年度の活動方針、事業計画、予算、役員が承認されました。

行政説明では、自転車事故の防止、新型インフルエンザについて、麻しん対策についての話がありました。また、総会終了後の講演に關連し、携帯電話問題への対応について説明がありました。

総会終了後、千葉県警察本部サイバー犯罪対策室、情報セキュリティアドバイザーの星野和彦氏による記念講演「ケイタイトラブルの現状と対策」がありました。具体的な事例に基づいたインターネット社会の問題に、会場では熱心にメモをとるPTAの姿が多く見られました。

学年主任より

お願い

一学年主任 綿貫 清

早いもので、あの入学式から三ヶ月以上が過ぎ、もう一学期も終わろうとしています。生徒たちの様子は、良く言えば学校生活に慣れた、悪く言えば気がゆるんできたといえるでしょう。

この気のゆるみは、頭髮や服装の乱れ、授業に取り組む姿勢など様々な面で見受けられます。学校ではその都度さつちりと指導しておりますが、いま一番の心配事は、何と言っても交通事故の多さです。

わずか三ヶ月程の間に、無傷で済んだ事故から入院に至る重大な事故まで数件あり、中には加害者となるケースもありました。それらのほとんどが気のゆるみや自転車マナーの悪さが原因です。

学校では集会やホームルームでことあるごとに指導しておりますが、本当に残念なのですが、我々の言葉はなかなか生徒たちの心に届かないのが現状です。

入学式の時にもお願いしましたが、今一度お子様の学校生活全般について、交通安全について、御家庭で御指導頂ければと思います。

他人ではなく肉親の、本当の愛情から発せられる言葉は必ず子どもたちの心に響くはずですよ。

近況報告

二学年主任 福田 克行

本年は生徒達にとって高校生活の最大の行事となる修学旅行を十月に控え、事前学習や体験見学コース作りなどの準備を着々と行っています。出来る限り生徒達自身に考えさせ、作り上げて行けるように学年職員も取り組んでいます。

また、一方では最終学年に向けて夢・希望の実現に各々が準備しはじめるのも第二学年にとっては大事なことです。先日(六月十八日)には分野別進路ガイダンスを実施し、進路先となる企業・大学・専門学校の方々をお招きして、「どのような力をも身につけておいて欲しいのか」「高校生に望むこと」をテーマに二時間にわたって話していただきました。講師の方々から伺ったのですが、概ね意欲的に聴いていた様です。来学期は見学会も実施致します。

さて、夏休みを迎えます。自ら計画的に過ごすというのは中々難しいことですが、是非自分を大切に、チャレンジして欲しいと思います。一步一步の成長を期待します。御家庭におかれましても、妥協せずかつ温かくお願い致します。

何とかなる?

三学年主任 石倉 裕之

「進路は決まった?」「ちゃんと準備してる?」「勉強は?」先生方からよく言われる言葉です。それに対してよく耳にするのが「何とかなるんじゃない?」という答えです。何気ない会話なので、うが、私にはとても気になります。人生において、とてつもない壁に当たった時、絶望した時、心の傷を癒し、再び立ち上がろうとして、あるいはそういった人を励まそうとして「何とかなるよ」という言葉を使うことは、とても有効ですよ。

う。でも、この言葉は、現状から逃げたり、努力を怠ったりする時の言い訳として使ってはいけません。何もしないで「何とかなる」ことは決してありえないからです。今の時代は、努力しても「何とかならない」ことが多くなっています。「何とかなる」と考えるのではなく「何とかする」という強い意志が必要とされます。何とかしようと努力して壁にはね返された時、初めて「大丈夫、まだまだ何とかなる」と、自分を励ましましょう。健闘を祈ります。

経過報告

「創立30周年記念事業実行委員会」

教頭 田中正之

いよいよ創立30周年記念事業まであと残すところ5ヶ月になりました。3月に第3回準備委員会を開き実行委員会立ち上げの最終確認をし、5月18日(月)には第1回実行委員会を開きました。実行委員長にはPTA会長の石橋久和様、副委員長には後援会長の谷照雄様、同窓会長の石井幹夫様、そして本校校長が選出され、委員にはPTA副会長・顧問の皆様と校長が指名した職員とで組織されました。その後会計と監査をそれぞれ選出し、準備委員会での決定事項を確認し、新たに提案された案件について審議しました。実行委員会で承認・確認された事項について報告いたします。

- (1)日程 平成21年11月20日(金)
午前中 授業・清掃・準備
午後1時～ 記念式典・記念講演会
- (2)場所 本校体育館(記念式典・記念講演会)
メルキュールホテル成田(祝賀会)
- (3)記念品 学校東門周辺の整備
- (4)記念講演会講師
元千葉ロッテマリーンズ投手 黒木知宏氏
- (5)記念誌 250部(CDを中心にできるだけコンパクトに)
- (6)校内委員会 ①30周年記念事業総務委員会(祝賀会を含む)
②30周年記念誌編集委員会
③30周年記念式典準備委員会(記念品を含む)

以上が当日承認・確認された事項です。なお次回は来賓等の検討を中心に7月23日(木)に開催する予定です。

日頃の学習活動について
教務主任 佐々木輝彦

七月、一年生も高校生活に慣れ最初の期末考査を迎えようとしている。三年生にとっては進路を決める上で大事な考査でもある。この時期の放課後の教室では、一心不乱に机に向かっている者や、友達同士で教え合っている者など様々な光景を見ることが出来る。このような生徒達の姿を見るにつけ日頃の学習活動の重要性を強く感じる。

なんとといっても、授業を大切にすることが大事である。本校では「遅刻をせず、チャイムとともに授業がはじまる。」ということを生徒も職員も目標としている。休み時間と授業のけじめをしかりつけ、積極的に授業に臨むことが重要である。また、学力の定着をはかるには復習が一番である。復習の習慣がない生徒は、是非とも復習の習慣を身につけてほしいものである。

次に、基礎学力の向上を目的として学年が主体となって漢字テストや英単語テストをHR等で実施している。地味ではあるが三年間真面目に取り組むと大きな効果を上げることが出来る。特に、英単語テストは三年間でセンター入試に出る単語のほとんどを網羅している、一年生から進学の準備ができるのである。

期末考査が終わると生徒たちが待ちわびた夏休みが始まる。その夏休みには、進学希望者を対象とした十八講座の夏期補習が開講される。この機会を逃すことなく進んで受講し、自分の目標が達成できるよう更なる飛躍を期待している。

卒業生より

拝啓 北高生の皆さんへ

大隈講堂に感動して 加瀬 叶

今年の春、僕はとても満足して大学の入学式を迎えることができた。目指した大学、心から行きたいと思った大学で入学式を迎えることができたからだ。大隈講堂を一学生として見たときは思わず泣きそうになった。

去年1年間、僕は恵まれた環境にいたと思う。予備校では勉強を始めたばかりで授業について行けなかったが、同じ理想を持った原君がいたおかげで頑張ることができた。原君とは数学や物理を教えあったり、予備校の小テストを競い合った。夏からは部活を引退した常房君が加わって、みんなで英語の勉強を競い合った。休日はみんなで昼食をとりながら、勉強の進み具合を話したり、わからない問題を考えたり、みんなで模試の結果に一喜一憂した。もちろん第一志望に受からなかった人もいるがお互いに高めあえたのは間違いない。

学校では遅刻したり早退したり、授業中に別の勉強したりしている僕に嫌そうにしながらも励ましてくれる先生がいたし(もちろん全員とはいえないが)、何気ないことだがとても励みになった。

入学試験はもちろん一人で挑むものだ。テスト中に助けてくれる人などいない。だが僕は助け合う友だちがいなかったら第一志望の大学に合格していなかっただろう。

ただ一つ確かなことは去年1年間とても成長できたということだ。(早稲田大学教育学部)

北高で3年間を過ごして

小西 麗生

私が受験を意識するようになったのは、実は2年の中頃からでした。それまでは留学を考えていたからです。英語こそしっかり勉強してはいたものの他の教科に関しては全く自信がなく不安だらけでした。何をどう勉強すれば良いかも解らなかつたので、とりあえずそれまで通り授業をよく聞き、テスト、勉強をしました。模試を受け復習をし、一方で私自身が興味のある経済について勉強を始めました。推薦を意識しての行動です。誰だって早く進路を決めたい、私も例にもれずそのその内の一人だったわけです。

勉強する時は、推薦だろうが一般だろうが「受かってやる、北高生なめるなよ!」と闘志を燃やしていました。因みに私は女ですが、この闘志が合格には必要不可欠です。

とても幸運な事に、北高には素晴らしい先生方が揃っていて、質問するととても丁寧に教えて下さったので、勉強そのものが楽しくもありました。勉強は解れば楽しいのですが解るまでが大変です。その解るまでの苦勞を先生方と共有する場、それが学校だと考えて、かなりの苦勞を先生方と共有しました。その結果、合格を知った時の達成感や満足感を味わう事ができました。

勉強の仕方は人それぞれですが、とにかく戦って下さい。そして勝って下さい。戦う相手は、自分と睡魔と未来とかいうやつです。私は勝てたようです、先生方と一緒に。(早稲田大学政経学部)

部活から勉強へ

當房 隼人

受験勉強を始めたのは、部活が終わった6月の後半からだ。何となく「とりあえず予備校に行ってみよう」という気持ちだった。予備校の体験授業で、僕が見たのは、黙々と何時間も自習室に籠もり勉強している他校の生徒たちだった。今思い返してみるとその時に他の高校生との勉強の差を思い知った。僕が受験で競っていくのはこういう人たちなんだ、と気づくことができたことが大学受験の大事な一歩だった。

次の3つの理由で、7月から受験までの8ヶ月間を勉強に集中することができた。

1つ目は受験科目の英・社の勉強がもともと好きだったこと。私立文系を目指す僕にはこの2科目が得点源に

なった。2つ目は切磋琢磨しあえる友人がいたこと。自分より勉強のできる友だちと模試などで競い合うことでお互いの向上心のアップにつながったこと。3つ目は成績が上がっていく自分を感じることができたこと。僕の中ではこの3つ目がかつても大きな力になった。

1、2回目の模試はひどい結果だったが、その反省を後の勉強に生かして成績が伸びたときは自分の勉強方法が間違っていないことが実感できたし、本番への弾みもついた。

大学受験を終えて、少し成長することができたと思う。今までの人生の中で、ここまで一つのことに集中できたことは大きな出来事だった。勉強に明け暮れた8ヶ月間は高校生活の大きな思い出。(法政大学文学部)

生徒会より

会長 天沼 久八

現在、私達生徒会は、黎明祭の準備を行っています。昨年は、とても盛り上がったので、今年は昨年以上に活気あふれる黎明祭にするために一生懸命活動しています。北高の黎明祭は、調理、食品、遊戯、商品、発表・展示、部活動による発表、有志の七団体による発表です。調理団体や食品販売には、衛生等の説明をするために現在担当者や衛生の道具を集めて各クラスに配布できるように準備しています。

また、パンフレットを作らなくてはならないので、そのために各クラスの部屋割りを行っています。この仕事は、すべての階にバランスよく、各団体を置かなくてはならないので、ただ今検討しています。部活動や有志の発表は、校舎内で行われるものと外で行われるものがあるので、両方のタイムスケジュールを作っています。

最後に、先日決まった黎明祭のテーマについてです。今年のテーマは、「YES 北 CA N」というテーマに決まりました。このテーマの意味は、「やるときはやる、北ならできる。」と



いう意味が込められており、私達生徒会一同もこのテーマに恥じぬ活動をしていきます。本校最大の黎明祭にするので楽しみにして下さい。

キャップ貯金箱

美化委員が各クラスに設置したペットボトルの「キャップ回収ボックス」。キャップの回収により、途上国の子供たちにポリオなどのワクチンを送ることが出来ます。また、CO₂の削減や石油の節約にも繋がります。飲み終わったペットボトルは、キャップを分けて回収ボックスに入れてください。貯まったキャップは定期的に美化委員が回収します。「キャップの貯金箱」事務局よりお礼と回収の報告も届いています。引き続きご協力をお願いします。



回収されたキャップの量
52.9kg (約20,800個)

- CO₂の削減 54.5kg (排出権価格にして64.4円相当)
 石油の節約 311.1ℓ (原油価格にして20770.1円相当)
 ワクチンの購入
 ポリオ (小児麻痺) 26.5人分
 BCG (結核) 75.6人分
 はしか 5.6人分
 MMR (三種混合) 4.7人分
 DPT (ジフテリア・百日咳・破傷風) 58.8人分

保健室だより

養護教諭 内藤 八重子

本校には養護教諭が二人おります。協力し、生徒が充実した学校生活を送れるよう、健康面からの支援を心がけています。

保健室の利用状況ですが、昨年度内科的理由による来室者数は、延べ一九三二人。九月が三一人で最多。十月、十一月も三〇〇人以上でした。来室理由は、腹痛・頭痛・倦怠感が多く、その中には、受験勉強も含め不規則な生活習慣や、対人関係の悩み起因する体調不調ではないかと窺える生徒もおります。一方、外科的な内容では、年間延べ五六七人の来室者があり、最多は九月で一一四人でした。擦り傷等の出血・打撲・捻挫が多くみられました。

保健室では、けがの応急処置・体調不良者の休養(原則一時間まで)・身体の不調に関する相談等を行っています。症状によっては専門医の診察をお勧めしますので、受診結果を保健室へお知らせいただくようお願いいたします。また、保護者の方に連絡の際、ご不在の場合があります。お子様自身にも、保護者の方の勤務先等確実な連絡先をお知らせいただけると、緊急時により迅速な対応が可能になるかと思えます。

本校では、通学時の自転車利用率が高く、自転車でのけがも多い状況です。特に車との接触事故の場合、軽症のようでも、次第に悪

化することがあります。事故直後、本人に冷静な判断はできません。可能であれば、その場で保護者の方に電話し、保護者の方と相手方とで直接お話しいただき、連絡先を確認の上、病院の受診と警察への届出をされるようお勧めいたします。

黎明祭・PTAハサリ 献品のお願い

平素は、本校発展のため多大なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、九月十二日(土)に実施される黎明祭に、PTAとして今年もバザーの形で参加することになりました。例年、収入はすべて生徒会へ寄付しております。バザーを行うにあたり、献品できるお品等ございましたら、黎明祭の当日までにご持参下さい。

尚、黎明祭当日もペットボトルのキャップ回収を行っております。ご来校の際には是非ご持参下さい。併せてご協力をお願い致します。

◆連絡先 総務部・寺内

学校を核とした真内 関の集い
1,000人が所三三集

- 平成二十一年九月十二日(土)
- 十三時三十分～十四時三十分
- 本校多目的室1
- テーマ

「学校と地域や家庭の連携をめざして」
当日は黎明祭一般公開日です。



平成21年度 球技大会結果一覧

| | 種目 | 優勝 | 2位 | 3位 |
|----|--------|----|-------|-------|
| 男子 | バスケット | 3H | 2B | 3B,3E |
| | サッカー | 2B | 3D | 2F,3B |
| | テニス | 2A | 1C,3F | 1D,2D |
| 女子 | バスケット | 2G | 1E | 2E,3F |
| | ドッチボール | 3H | 1G | 1F,3E |
| | バレー | 2G | 1D | 3D |
| | 卓球 | 1A | 1B | 3D |

総合成績

優勝 2G
2位 3H
3位 3D

5月1日、朝から晴天に恵まれ、全生徒参加のもと、“クラス別対抗戦”で開催されました。

男子は、バスケットボール、サッカー、テニス。女子は、バスケットボール、ドッチボール、バレーボール、卓球の各種目に分かれて熱戦が繰り広げられました。

各種目及び総合成績の結果は次の通りです。

球技大会



女子ハンドボール部



少林寺拳法部

おめでとうございます

編集後記

今号は、少ないメンバーでの作業で、原稿依頼・編集とだいぶ苦戦をしましたが、原稿にご協力して頂いた皆様のおかげで、無事に「なりきた」第八十号を発行する事が出来、メンバー一同感謝しております。

ありがとうございます。

これからも更なる充実した内容をめざして、皆様からの御意見、御感想を募集しております。広報委員会までお寄せ下さい。

成田北高のホームページを
ご覧下さい

URL:<http://www.chiba-c.ed.jp/naritakita-h/>